

- 立地適正化計画は、人口減少・高齢化が進む中で、居住・医療・商業・交通などの都市機能を持続可能な形で集約し、地域全体の暮らしやすさを高めることを目的とした都市計画です。
- 特に交通分野は、これらの都市機能を相互に結びつけ、日常生活の移動を支える基盤として重要な役割を担っており、公共交通の維持・充実は計画の実現に不可欠な要素となっています。



- こうした背景のもと、現在、本市では立地適正化計画が未策定であることから、令和9年度末の計画策定に向けて、都市計画マスタープランの改定と併せて取り組みを進めているところです。
- 立地適正化計画の策定にあたっては、都市構造の再編とともに、地域の移動手段の確保や交通利便性の向上が求められるため、交通施策との連携が極めて重要です。
- この取り組みにあたっては、今般改定を予定している第2次地域公共交通計画の内容とも整合・連携を図りながら、都市計画と交通施策の両面からまちづくりを推進し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現をめざしてまいります。